



音楽ファイル鑑賞用の再生ソフト “roon” (ルーン) に対応 (“roon tested Product”)

“roon” はスマートな使い勝手で、世界の音楽ファンに注目されている音楽鑑賞用の再生ソフトです。創業者CEOのEnno Vandermeerは、Meridianを経てスピアウトした経緯があり、Meridianのネットワーク再生システムSooloosも彼によるものです。

Roonの特長は音楽データを可能な限り高品位に再生するだけでなく、コンテンツのバックグラウンド情報も提供するという体験提供型のソフトウェアと言えます。これは、バークリー音楽院出身のVandermeerのオーディオ観、音楽観が反映されているものと言えます。同時に、音質面でもMeridianでのハイレゾ信号伝送の先駆者としてのエンジニアリング・ノウハウを生かした高品位な音質伝送技術がオーディオファンから、高い評価を得ています。MQA やDSDもストレス無く再生することが可能なことが大きなメリットです。

また、本機はRoonによる TIDALのハイレゾ (MQA Master) 音楽再生にも対応していますが、日本でのTIDAL社のサービスは現在、行われていません。その点ご注意ください。(2018年11月現在)

メリディアン独自のDSP技術を生かした プリ・アンプ機能

本機は初期設定で、ボリューム 機能を可変・固定を選択することが可能です。プリアンプとして使うときには、アナログ音源もデジタル音源も176 / 192kHz24bit処理による高度な音質・音量調整が可能になります。例えば、Treble (高域) の調整では、DSPのアルゴリズムにより、高域だけでなく全帯域のカーブを傾斜させて、音の明るさをバランス良く整えます。

映画や音楽などの映像ソースを快適に楽しめるリップシンク機能

ビデオ処理は通常、画像を遅延させます。音声映像よりも遅くなるので、画像の前に聞こえる音声は違和感を与える場合があります。本機は、最大+85m sec までオーディオ遅延回路により同期タイミングの調整が可能です。(なお、一部のビデオ機器で、映像が音声より遅れるハードには対応していません。) 映画や、コンサートライブの視聴にも本機を積極的に活用することが可能です。

手頃なサイズとハイ・パフォーマンスを実現した、高密度8層基板を採用

パワフルなDSP チップを採用した 8層の嵩密度基板を搭載。高度な独自技術をコンパクトに凝縮させました。本体幅はわずか20 cmで本格的な単品コンポの約半分となっており、取扱いが簡単で配線作業や確認も楽に行うことができます。パウダーコーティング仕上げの強固なアルミシャーシーにより磁気ノイズシールドにも十分に配慮された構造となっています。



【独自のデジタル音声処理技術】 デジタル・スペック競争からアナログ音質重視へ

FIFOバッファリング

デジタル録音データの各サンプルは、時間的に均等な間隔を正確に保つ必要があります。残念ながら、このタイミングの問題は、特にディスクの読み取りでしばしば生じることがあります。これがジッターノイズであり、音楽の空間感覚を低下させ聴感上、音のリアリティにも大きな影響を及ぼします。

本機はメリディアンのハイエンドモデルと同じく複数のファースト・イン・ファースト・アウト・メモリ（First In、First Out）によるバッファリング・システムを搭載しました。ジッターノイズを最小限に抑え、完璧なクロック・タイミングを確保。これにより、個々の楽音や、その相互の関係性などがより明確に表現されます。極めてユニークなクロックシステムがメリディアンの音のポテンシャルを支えています。ハイレゾ音源よりシリアスなディスク再生におけるクロック精度改善にも大きく寄与します。

メリディアン・アポダイジング・フィルター

フィルター技術はデジタル・オーディオにおいて極めて重要です。特に黎明期のAD変換で用いられたフィルターの技術的な要因により音の立ち上がりポイント前に生じる深刻な「プリエコーノイズ」が生じていたことに、メリディアンは早くから注目してきました。

その後、長年の地道な研究と試行錯誤の結果、ようやく「プリエコーノイズ」を抑える画期的な、デジタル・フィルターを開発しノイズの発生を抑制する技術を確立。その結果、初期のデジタル録音から最新の作品まで、自然で立体的なメリディアンらしい、しなやかなアナログ音声を再現することが可能となりました。

メリディアン・アップサンプリング

複雑なデジタル・フィルターによって、ソースのサンプルレートを拡張し、記録された音楽情報のデータの解像度を向上させます。つまり、CDなどの標準的なソースでもユーザーのリスニング体験を大きく向上させることができます。



【その他の仕様】

オーディオ出力

- ・ 2-ch アナログ出力 (RCA)
- ・ デジタル (補助) 出力 ※ Meridian機器間の増設に対応
- ・ 同軸出力 (RCA)
- ・ Meridian SpeakerLink 出力
- ※ Meridian DSPスピーカーへの接続専用オーディオ入力

オーディオ入力

- ・ アナログ入力 (入力感度の調整可能)
- ・ デジタル同軸入力 44. 1kHz 最大192kHz/ 24- bit
- ・ Meridian Speakerlink 入力 44. 1kHz 最大192kHz / 24bit
- ・ デジタル光入力. 44. 1kHz 最大96kHz/ 24bit
- ・ ネットワーク入力 44. 1kHz 最大96kHz/ 24bit

その他、コントロール入出力等

- ・ トリガー出力12VDC/ 100mA
- ・ IR (リモコンセンサー Meridian G12 接続端子表示機能 (LED))

フロントパネル

ソース・インディケーター x5
青 : スタンバイ時 白 : 通電時の選択ソース
MQA ・再生インディケーター x1
青/緑 : MQA 再生時

リアパネル

電源インディケーター x1

電源 100V 50/60V 消費電力 5W
外径寸法 幅 204mm x高 42mm x奥行 150mm 質量 0.56kg
生産地 イギリス ケンブリッジ (ハンドメイド生産)
特別保証期間 : 購入後5年間 (所定のユーザー登録が必要)



【Meridianブランド紹介】

メリディアン・オーディオは1977年に、工業デザイナーのアラン・ブースロイドと、エンジニアのボブ・スチュアートにより設立されました。

創業以来、常に最先端のデジタル信号処理技術による優れた音質パフォーマンスに加えて、洗練されたハンドメイドによるモノ作りや、使いやすいデザインが高く評価され愛されてきました。イギリスを代表するオーディオブランドとしてジャガー、レンジローバーや、マクラーレンの高級車向けのデジタル信号処理技術の開発・提供を行っています。昨年からLGへのDSP技術開発協力、MQAのスマートホーンへの実装アシスト等を加速させ、多くのプロダクトが今年のCESでも紹介されています。

現在のCEOは、ジョン・ブキャナン。共同創業者であるボブ・スチュアートは、MQAの普及のため、MQAリミテッドにスピンアウトして活動中です。

【MQA について】

近年は、ハイレゾ音楽を広く一般音楽ファンに普及させるため多くの技術課題に世界の音楽コンテンツ起業と協業し取り組んできました。その成果が新たなPCM音声符号化技術MQAです。

その第1の利点は膨大なサイズとなるハイレゾ・データをコンパクトにすることです。転送レートを小さくすることで、ダウンロード型のサービスのみならず、ストリーミングサービスや、コンパクトディスクにも対応。高いクオリティを維持しつつ、利便性とPCMファイルとの互換性を保ちます。アナログ録音、PCM録音、DSD録音いずれもMQA音源化が可能のためすでに多くのレーベルからタイトル発売が増加中です。

音質面では、サンプリング周波数の拡大競争やダイナミックレンジの拡張という、画一的なスペック競争から、180度方向を変えて、最新の神経工学の成果を正しく踏まえ人間の本能に根ざした『時間軸情報の向上』という観点からの科学的アプローチによるAD、DA技術の開発で世界をリードしています。

従来、192kHz24bitのハイレゾ再生でも、プリエコー、ポストエコーと呼ばれる時間軸情報の滲みが数百マイクロ秒存在していました。これに対してMQAは同じ192kHzファイルでもエコーノイズを知覚限界に迫る10マイクロ秒まで改善させます。

最高の音質パフォーマンスを追求しながら、利便性にも妥協しないという姿勢は本機 Meridian218 の設計思想にも確かに示されています。

【この件に関するお問い合わせ先】

ハイレス・ミュージック株式会社

代表 鈴木秀一郎

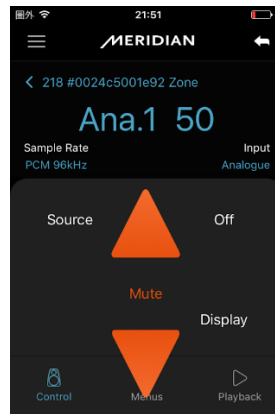
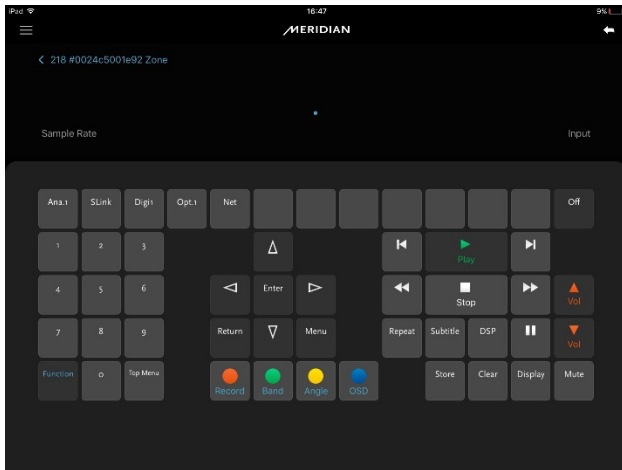
03-6805-2027 info@hires-music.jp

〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-6サガミビル2F



■参考写真

iPad (左) iPhone (右) 操作アプリ画面



アプリ名 : Meridian IP Control は無償で入手可能



IP接続による設定画面 (通常ブラウザでアドレス入力)

リモコン上に表示される、ソース名称などをお好みに修正することも可能です。

Source configuration

	Legend	Audio Input	Sensitivity	Trigger	FIFO	Validity	Lipsync	Comms Type	Address
CD:	Ana.1	Analogue	2.0V	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	1C	1A
Radio:	SLink	SpeakerLink	2.0V	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	2C	1A
SLS:	Opt.1	Optical	2.0V	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	4C	1A
TV:		Off	2.0V	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	0	4C	1A
Tape:		Off	2.0V	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	NC	1A
Sat:		Off	2.0V	Off	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	NC	1A
Disc:	Net	Sooloos	2.0V	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	0	4C	1A
Cable:		Off	2.0V	Off	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	NC	1A
DVD:	Digi1	Digital	2.0V	Off	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	NC	1A
PVR:		Off	2.0V	Off	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	NC	1A
USB:		Off	2.0V	Off	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	NC	1A
Game:		Off	2.0V	Off	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	NC	1A

Startup source: DVD

State after power up: Standby: On: